

子ども夢フォーラム

News!

NPO(非営利任意団体)
2017.11.15 (No.104)

【隔月発行】発行責任者：高木真理子



紅葉がきれいです！

街路樹が色づき、車中からは日々、紅葉狩りの気分です。
紅葉を愛でることを「紅葉狩り」というようになったのは、平安貴族の登場が影響しており、狩猟をしない平安貴族は、自然を愛でることに「狩り」という言葉を使ったそうです。
葉っぱたちは、秋風に乗り、冬じまいの落ち着き先を探しているかのよう。



日暮れが早く、秋の夜長をどう過ごしましょう。
あったかいお部屋でふうふうお鍋を囲みましょうか。
1人鍋も気楽でなかなか good！^^！
積んでおいた本をやおら手に取り読み始めるのもこんな時？
遠くにいる家族を想ってマフラーや手袋を編みましょうか。
収穫した秋の味覚のおすそわけを頂けるのもうれしいこと！



一年の巡りはなんて早いんでしょう。
何かを成し遂げたわけでもなく、予定を一つ一つこなすうちに、
雑糴と一日を過ごすうちに、もう年越しだなんて・・・
年を越せるしあわせ、年齢を重ねられる奇跡に
感謝できる境地の入り口にたてた気がするこの頃です。
みなさま、お元気でしょうか。

タイヤ交換やお歳暮の手配など。。。
何かと気ぜわしい時季です…

第21回受け手養成講座は無事終了しました！

残暑が厳しい9月9日に始まり、紅葉真っ盛りの肌寒い11月11日に全講座を修了しました。
受講者のみなさん、皆出席で、お一人お一人とても熱心に参加してくださいました。毎回、とても濃い時間で、これも講師のみなさまのおかげと思い、深く感謝しています。
みなさん、受け手に加わってくださるそうなので、有り難いし心強いし、感謝の気持ちでいっぱいです。受け手のお時間をお寄せいただくことでチャイルドラインの活動は成り立っています。
子どもに寄り添おうとするお一人お一人のお気持ちが、子どもの生きる糧につながっているとしたら何よりです。

この養成講座に受講者を送り出す機関もあります。それは何より、この講座を高く評価してくださっているからだと思っています。

講座への参加は、子どもの状況を知ってくださる大人が増えるということ。子どもに優しいまなざしを向ける大人の拡がり、子どもの安心につながります。直接、関わってくださることはもちろんですが、講座をとおして活動にご理解を深めていただけることも子どもたちにとって大きな支えです。



親子のリージョンシップほくりく2017 in いしかわ

～子どもが輝くまちづくりをめざして～

日時：2017年10月21日（土）10時～17時

会場：白山市松任学習センターほか

白山開山1300年祭にぎわう松任駅前どおり。会場周辺は、歩行者天国で屋台も多くでいていました。夕方までなんとか雨もふらず、会場には徐々に人が参集し、予定どおり開場です。

オープニングは、白山市東二口集落に350余年ものあいだ伝承されてきた国指定重要無形民俗文化財、人形浄瑠璃でくの舞で始まりました。作品のほんの一部を演じられたのですが、単調な動きは徐々に熱を帯び、いつしか物語に引き込まれていきました。圧巻でした^^。



雪深い山里に300年以上も連綿と伝えられ、人々に守られてきたそんな歴史を感じさせてくれた「でくの舞」でした。単純な構造の人形が 人の手で女性らしく体をひねって見えたことに一瞬目を見張ったり、大きな足音とともに動く人形が生き生きとしていたり。これからも、何百年と続いて欲しいと思いました。

感想から

毎年2月に東二口歴史民俗資料館で開催される「文弥まつり」で一般公開されるそうです。

明橋大二代表、白山市井田副市長のご挨拶のあと、代表の基調講演では、富山の子どもの権利条約ネットワーク子ども実行委員からのメッセージが伝えられました。



子どもがやりたいといったことを応援する。大人の意見を子どもに押し付けない。大人は子どものお手本に。大人に本心を伝えられる子どもが増えてほしい。子どもにとって素晴らしい社会になることを心から願っています。



子どもたちは、難しい言葉を使わず、語尾に～ね。をつけたり、話し言葉にするなど、たくさんの工夫をして、子どもたちにむけてつくった文章（右記）も紹介されましたが、書き留めきれませんでした。

- ①暴力はやめて。暴力を振るわれたら悲しいよね。だから暴力はしたらだめ。暴力はきらいだ。
- ②いじめはだめ。いやなことを言われたり、無視されたり、けられたりされたら悲しいよね。だから人が悲しむことはぜったいにしたらダメだよ。そしてもし“私”がいじめられたらお父さんでもお母さんでも学校の先生でもお友達でもだれでもいいから話してみてね。
- ③言ってもいいんだよ。



～シンポジウム「子どもが輝くまちづくり」～

シンポジストには明橋代表、多田元氏、白山市職員と子ども代表で出てくださいました白山市在住の高校生の「挨拶が大切だとおもうんです」の発言から会場とのやりとりで発展^^。白山市は、県内で最初に子どもの権利条例を平成19年4月に施行しました。今年がちょうど10年の節目。権利条例施行に携わった白山市職員の方は、「生涯学習課は、内からわきでるものを大切に学びをつくることという想いをもって様々な企画に取り組んでいる」というご意見に感銘しました。行政にこういう方がいるとそこに住む人たちは救われますよね。白山市は子ども達に条例を浸透させている数少ない市の一つだと思います。あとに続きたいものです。



午後から三つの分科会があり、分科会報告のあと、来年の富山大会日程が告知され、閉会しました。

私たち大人が子どもから学び、多くの気づきの中で、大人の優しいまなざしにつつまれて子どもの笑顔あふれるまちづくりを目指したいとの想いを、さらに強くなりました。



文科省 学校いじめ最多32万件 小学校で急増



全国の小中高校と特別支援学校が2016年度に認知したいじめは、前年度比43.8%（9万8676件）増の32万3808件で、過去最多を更新したことが、文部科学省が26日に公表した問題行動・不登校調査の結果（速報値）で明らかになった。3年連続の増加で、初めて30万件を超えた。（2017.10.26毎日新聞）

文科省は、これまで対象から外していたけんかやふざけ合いのうち、心身の苦痛を感じるような一方的な暴力行為を伴うものを今回からいじめに含めたことが大幅増の要因と見ており、「積極的に認知を進めた成果」として肯定的に受け止めている。

小学校は前年度比56.8%増の23万7921件、中学校は同19.8%増の7万1309件でそれぞれ過去最多。高校は同1.7%増の1万2874件、特別支援学校は同33.8%増の1704件だった。

いじめの内容（複数回答）は「からかいや悪口」が62.5%で最も多く、「遊ぶふりをしたたく、蹴る」（21.6%）、「仲間はずれ、集団による無視」（15.3%）と続いた。インターネット交流サイト（SNS）など「パソコンや携帯電話での誹謗（ひぼう）、中傷」は3.3%だったが、高校では17.4%と2番目に多かった。

いじめ防止対策推進法で定める「重大事態」は前年度比86件増の400件。このうち生命や心身などに重大な被害が生じた疑いがあるのは34件増の164件だった。自殺した子どもは244人で、そのうちいじめ問題を抱えていたのは10人、教職員との関係で悩んでいたのは3人だった。

いじめの認知件数は急増したが、全体の3割の学校が1件も認知していないと回答した。

都道府県別でも、生徒・児童1000人あたりの認知件数（全国平均23.9件）は最多の京都（96.8件）と最少の香川（5.2件）で19倍の差があり、意識の差が浮き彫りとなった。

一方、全国の小中高校で、年間30日以上欠席した不登校の児童・生徒は前年度比4.2%（7423人）増の18万2977人。暴力行為の発生件数は、同4.7%（2651件）増の5万9457件だった。

毎日新聞の記事をコピーしました。文字が多いですがお読みいただき子どもたちの状況を知る一助になれば幸いです。

悲惨な事件に、自分の気持ちを吐く相手をSNSから人へと取り戻さなくては、そんな社会にしなくては、という想いを強くしました。

～振込みお礼～

(10～11月)

3名の方からお振込みを頂きました。

ありがとうございます^^。

「正しく怖がるインターネット～事例に学ぶ情報モラル～」

■講師：GREE(株) 安心安全チームマネージャー

■10月22日（日）10時～12時/県地場産業振興センター

個人情報ではない些細な情報から個人が特定されてしまう恐ろしさを改めて再認識しました。行動パターンや居場所は書かない方がよいとのこと。ラインやfacebookで友達限定公開だから大丈夫と思ってみんな気を許しているけど、「大丈夫」なんてことは全くない。いくらでも拡散せられる。また、家の玄関に貼りだせないような内容は、ネットに載せないこと。それがネットの正体であり、限界である。「ネットに載せることは、コントロールをあきらめること」という言葉をしっかり受けとめました。（強く肝に銘じようと思います）

青少年携帯電話等対策講座

ネットは子どもたちの生活に根を生やしており、様々なトラブル・被害に遭っている子どもも少なくありません。



子どもが自らの命を絶つことのない社会にするために、私たちにできることのヒントがみつかる気がします。

【事務局のおもな動き】

★チャイルドラインは、月～土、全国で実施中★
0120-99-7777 (16時～21時)

≪いしかわは、金曜日と土曜日に受けています！≫

- 10月 23日(月) 委員会
- 27日(金) 打合せ
- 28日(土) 第21回受け手養成講座⑧⑨
- 11月 1日(水) 講演(松任)
- 6日(月) 講演(金沢)
- 11日(土) 第21回受け手養成講座⑩⑪
- 13日(月) 委員会
- 15日(水) 印刷
- 16日(木) かけがえのない命をまもるNW
- 17日(金) 打合せ
- 18日(土) 打合せ
- 19日(日) 北陸近畿エリア会議(京都)
- 22日(水) 子育て包括支援フォーラム
〃 実行委員会
- 25日(土) 日本女性会議イベント
- 26日27日 子育てハッピーアドバイザー養成講座
- 29日(木) 金沢市委員会
- 12月 3日(日) こころの健康づくり講演会
- 5日(火) 受け手継続研修
- 8日(金) 部会
- 10日(日) 年忘れ懇親会
- 16日(土) パパ子育て講座
- 18日(月) 委員会



こころの健康づくり講演会

「SOSを出せていますか？
SOSに気づいていますか？」

講師：石井綾華氏
(NPO 法人 Light Ring 代表)

■2017年12月3日(日) 13時半～16時
■石川県地場産業振興センター

主催／石川県・かけがえのない命を
まもるネットワークいしかわ

お問合せ・お申込みは
石川県こころの健康センター
☎076-238-5750 まで

日本女性会議 2018 in 金沢
イベントのご案内

2017年11月25日(土)
10時～13時
金沢ニューグランドホテル
内容：表彰式・講演会・交流会
(交流会参加の場合、参加費1000円)

日本女性会議とは、男女共同参画をテーマとし、参加者相互の交流や情報交換を行う全国規模の会議です。イベントでは、平成30年10月に金沢で開催される「日本女性会議」の成功に向けて機運を盛り上げます！

参加をご希望される方は、金沢市人権女性政策推進課
076-220-2095にお問合せください。

12/29～1/3まで事務所をお休みします。
皆様、良いお年をお迎えください

「パパママ・ホットライン」

火 水 木 金 (10時から15時)
076-214-5666

～豊かな子どもの未来のために～
〈子ども夢フォーラム〉

NPO(民間非営利団体)

〒921-8101
石川県金沢市法島町11-8
いしかわ子ども交流センター2階
TEL/FAX 076-214-5680
URL <http://www.yumeforum.org>
E-mail kodomo@yumeforum.org
郵便振替口座 00700-5-46262

〈子ども夢フォーラム〉は、子ども専用電話【チャイルドライン・いしかわ】を実施しています。【チャイルドライン】は、子どもの話に耳を傾け、心に寄り添い、気持ちを受けとめる電話です。子どもの声からの気づきも重要と捉え、子どもを大人社会にフィードバックすることも重要と捉え、大人の話を受けとめる「パパママ・ホットライン」や、「パパ子育て講座」などの活動を展開しています。同時に他団体とのネットワークも大切にしています。子どもだけでなく、親も、自分に自信をもち、夢を抱きながら心豊かに21世紀を生きていくことにつながるよう、サポートしていきたいと思ひます。

